



安全データシート

Copyright, 2016, 3M Company
All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	36-5989-3	版	1.01
発行日	2016/08/31	前発行日	2016/08/30

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

のり取りクリーナー

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマー・オフィスマーケット技術部
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類

可燃性・引火性エアゾール： 区分1
皮膚感作性物質： 区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分1
水生環境有害性（急性）： 区分1
水生環境有害性（長期間）： 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語
危険

シンボル

炎 感嘆符 健康有害性 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H222	極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。
H229	高圧ガス：加熱すると箱初のおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H370	臓器の障害。 心・血管系。
H410	水生生物に極めて有毒で長期の影響が出る。

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

安全対策

P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P211	裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P251	使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P307 + P311	暴露した場合：医師に連絡すること。

保管

P410 + P412	日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

故意に濃縮したり、成分を吸引するような誤使用は、健康に有害で致死的な場合がある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

のり取りクリーナー

成分	CAS番号	重量%
D-リモネン	5989-27-5	60 - 90
プロパン	74-98-6	10 - 25
ノニオン系界面活性剤	営業秘密	0 - 20

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

故意の誤使用や乱用によるばく露は心筋の刺激を増加させる可能性がある。
必要な場合以外は交感神経作用の薬を投与すべきではない。

5. 火災時の措置

消火剤

周囲火災の消火に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

火災の熱で密封している容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐため使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。－ 禁煙。
火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気での場所を換気する。

のり取りクリーナー

大量にこぼれた場合、あるいは区切られた場所でこぼれた場合は、粉塵、蒸気の強制換気を行う。
警告！モーターは着火源になる－モーターは漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気に燃焼させ、爆発させる可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

大量の場合には、下水設備に入るのを防止する為に下水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した容器を換気フードに置く。 漏洩を止める。

漏洩場所を消火泡で覆う。適正な泡形成水性フィルム（A F F F）が推奨される。

ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。

吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。

出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。

責任者が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気で換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従うこと。 容器を密封する。 回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。－

禁煙。 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。

酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
シクロヘキセン, 1-メチル-4-(1-メチルエチニル)-	5989-27-5	AIHA	TWA:165.5 mg/m ³ (30 ppm)	
プロパン	74-98-6	ACGIH	限界値は未設定	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた目・顔の保護具を選択・使用する。下記の日・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：ニトリルゴム

樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、暴露の可能性が高い場合にはつなぎ服などの保護衣を使用する。

ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ニトリル製エプロン
ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露状況を評価し、必要と判断される場合には吸入防止装置の一部として、以下の呼吸保護具の中から選択する。

有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形送気マスク。

半面形あるいは全面形送気マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観

液体

物理的状態:

エアゾール

形状、色、臭い

液体。透明-淡黄色。柑橘臭。

臭いの閾値

データはない。

pH

適用しない。

融点・凝固点

適用しない。

沸点、初留点及び沸騰範囲

データはない。

引火点

-45.6 °C [詳細: 測定条件: 噴射ガス、54°C (濃縮)]

蒸発速度

データはない。

引火性 (固体、ガス)

適用しない。

燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	データはない。
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	データはない。
揮発性有機化合物	780 g/l
揮発分	約 95 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS-GHSの要求項目ではない）	データはない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

未確定

危険有害な分解物 物質

アルデヒド
炭化水素類
一酸化炭素
二酸化炭素
ケトン類

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。

また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

スプレーされた製品は眼を刺激する恐れがある。症状は発赤、浮腫、痛み、涙及び眼のくもりあるいはかすみ。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：症状/兆候には局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含む。

アレルギー性皮膚反応（光反応以外）を起こす可能性がある（症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある）。

吸入した場合

吸入すると有害のおそれ 故意に高濃度のガスを吸入すると有害若しくは死に至ることがある。

気道刺激：症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。

以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

飲み込んだ場合

胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある）。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

許容濃度以上で単回ばく露した場合：

心臓感受性：徴候・症状として、心拍動リズムの異常（リズム失調）、脱力感、胸部痛を含むおそれがあり、死に至ることがある。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入-蒸気(4時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値20 - 50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
D-リモノン	吸入-蒸気(4時間)	マウス	LC50 > 3.14 mg/l
D-リモノン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
D-リモノン	経口摂取	ラット	LD50 4,400 mg/kg
プロパン	吸入-ガス(4時間)	ラット	LC50 > 200,000 ppm
ノニオン系界面活性剤	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ノニオン系界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50 > 38,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

のり取りクリーナー

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
D-リモネン	ウサギ	軽度の刺激
プロパン	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
D-リモネン	ウサギ	軽度の刺激
プロパン	ウサギ	軽度の刺激

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
D-リモネン	マウス	感作性あり

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
D-リモネン	In vitro	変異原性なし
D-リモネン	In vivo	変異原性なし
プロパン	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
D-リモネン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
D-リモネン	経口摂取	雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 750 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
D-リモネン	経口摂取	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 591 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
D-リモネン	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
プロパン	吸入した場合	心臓感作性	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	
プロパン	吸入した	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL	

のり取りクリーナー

	場合				非該当	
プロパン	吸入した場合	呼吸器への刺激	全て陰性	ヒト	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
D-リモネン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 75 mg/kg/day	103 週
D-リモネン	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
D-リモネン	経口摂取	心臓 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 筋肉 神経系 呼吸器系	全て陰性	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	103 週

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
D-リモネン	吸入有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。

セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分1：水生生物に非常に強い毒性。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分1：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
プロパン	74-98-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			

のり取りクリーナー

D-リモネン	5989-27-5	緑藻類	実験	96 時間	抑制濃度 50%	1.81 mg/l
D-リモネン	5989-27-5	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	0.702 mg/l
ノニオン系界 面活性剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	90 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ノニオン系界 面活性剤	営業秘密	実験 生分解性	5 日	生物学的酸素 要求量	70 重量%	別法
D-リモネン	5989-27-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素 要求量	98 重量%	OECD 301C-MITI (1)
D-リモネン	5989-27-5	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	2.5 時間 (t 1/2)	別法
プロパン	74-98-6	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	27.5 日 (t 1/2)	別法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
D-リモネン	5989-27-5	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2127	別法
プロパン	74-98-6	実験 生態濃縮		オクタノール /水 分配係数	2.36	別法
ノニオン系界 面活性剤	営業秘密	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

のり取りクリーナー

国連番号及び品名： 1950 エアゾール

輸送分類 (IMO)：2.1 可燃性ガス

輸送分類 (IATA)：2.1 可燃性ガス

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

主な法規制物質

	法規名		
成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

高圧ガス保安法：通商産業省告示139号 (平成9年3月24日) エアゾール

消防法：危険物第4類第2石油類

船舶安全法：高圧ガス

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。